

## 東三河支部 令和4年度 愛知県・豊川市総合防災訓練参加報告

- ・日 時：令和4年12月17日（土）午後1時
- ・場 所：陸上自衛隊豊川駐屯地訓練場  
（豊川市金屋西町）
- ・主 催：愛知県・豊川市
- ・参加者：2,000名
- ・防災の想定：南海トラフ地震

訓練テーマ ひとのわ とよかわ  
～防災・減災のまちづくり～

「県民総ぐるみ防災訓練」の一つとして、災害対策基本法及び愛知県地域防災計画並びに豊川市地域防災計画に基づき、愛知県、豊川市、各防災関係機関、地域住民等の参加協力のもと、総合的な防災訓練を実施しました。訓練の目的として大規模災害発生時における迅速かつ的確な応急活動のための協力体制の確立や、地域の連携を活かした防災力の強化を図り、防災意識の高揚を図ります。

東三河支部（鬼頭秀幸支部長）は支部役員ら5名が参加し、訓練場内に設置したテント内に（一社）愛知県産業資源循環協会の活動を紹介するパネル展示と、コンテナ車（（株）加藤解体工業提供）の展示を行いました。

同テントには行政から多数の方々（大村秀章愛知県知事、竹本幸夫豊川市長）の訪問があり、鬼頭支部長が展示パネルの説明を行いました。当日は防災訓練ということから、千曲川災害廃棄物処理支援等のパネルに関心を持っていただけました。

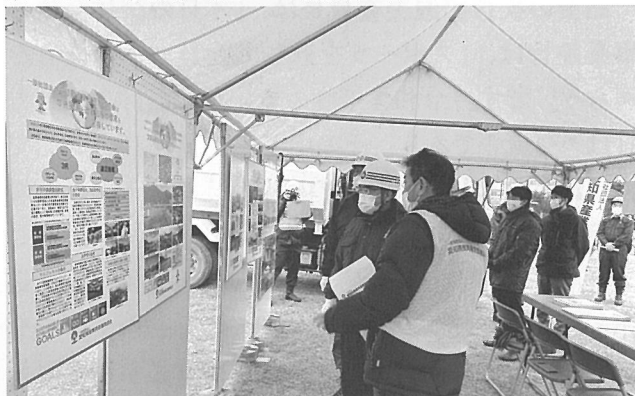
当日は雨天でしたが、東三河支部の取組を多くの方に周知啓発できた防災訓練の参加となりました。



訓練参加者の皆様



東三河支部の参加者4名とカメラ撮影者1名



行政の方に説明をする鬼頭支部長



多くの行政の方が東三河支部のテントを訪れました。



（株）加藤解体工業のコンテナ車